

利根保健生協 2008年8月現勢

生協組合員.....26,153世帯
 出資金額.....1,193,571,000円
 平均出資金額.....45,638円

理事27名 監事3名 総代204名 班長1340名 保健委員1723名
 くらしの相談員126名 ホームヘルパー2級144名 3級40名
 出資金一世帯平均で全国目標の
 5万円達成をめざしましょう

利根の保健

利根保健生活協同組合

発行人 都 築 請 発行部数 21,300
 編集 「利根の保健」編集委員会
 〒378-0053 沼田市東原新町1855番地の1
 0278(22)4321 FAX(22)4393

事業所 利根中央病院 (22)4321
 利根歯科診療所 (24)9418
 老人保健施設とね (22)8855
 とね訪問看護ステーション (23)3706
 片品村鎌田 片品診療所 (58)3910
 印刷 有限会社 コトブキ印刷

生協強化月間スタート!!

「新病院建設」にはずみを 住民・患者に役立つ施設

10月1日から「生協強化月間」が始まりました。利根保健生協では、「新病院建設」とあわせ、利根西部の総合拠点づくりをめざす取り組みが開始されました。

今年の強化月間ではこれら2つの大事業成功のため、目標の1億円をやりあげようと、9月に各支部で会議を行い、出足早い活動を始めようと準備を進めています。

来年秋の着工に向け
基本設計を検討中

新病院建設は2009年秋の着工を予定し、11月中には基本設計を決定し、来年4月までには実施設計を仕上げます。従って、外来診療や診

療技術部門などは現病院施設を一部改修して活用します。基本設計では、新病院は地上4階、地下1階建てとし、地下は「放射線治療装置」を設置、1階は給食施設と手術室、2階から4階を病棟とし、小児科はさらに個室を増やすレイアウトを検討中です。



45人参加の正副支部長会議



活発な討議が沼田北支部

地域に必要な病院放射線治療にも期待

9月5日の正副支部長会議後、20支部で活動具体化の話し合いが行われました。

病院の地元中の地元である沼田東支部は、休日夜間の救急医療や、全科揃っている診療科など利根中央病院は地域になくてはならない病院。この病院をさらに良くする施設づくりだから、増資協力者を昨年より増やし30%は達成しようと話し合いました。

増資世帯が9年連続して30%を超え、牽引的役割を果たしている月夜野東支部は、今年「新病院建設」と「利根西部拠点づくり」と2つの施設づくりがあるので、これまで以上の増資訪問を意思統一。早速2か所での訪問活動の日程が決まりました。

沼田南支部は、支部長を先頭に増資活動でいつも大きな成果をあげています。会議では地域で果たしている生協の役割や放射線治療への期待などが出されました。馬場さんは同町内の亡くなった総代の分まで頑張ると決意、各総代も担当地域を決め奮闘することを話し合いました。

9月25日に好評で4回目と
交流会や学習
活動の活性化に

秋の一日を楽しく学び健康づくり

多くの方の参加をお待ちしています。

病院祭

11月9日(日)
午前10時~午後4時
利根中央病院 外来フロア
および屋外ステージ

主な催し
・オープニング 津軽三味線
・「なるほどワールド」でおなじみの「トランプマン」の手品ショー
・新病院建設のパネル展示等
・新葛飾病院で医療安全管理者活躍されている豊田郁子先生の講演
・演劇・演奏・フラダンス

くらしと健康まつり

10月19日(日)
午前10時~午後2時30分
沼田市十王公園

主な催し
・薄根ふるさと太鼓
・保健生協各支部の模擬店
・各種健康チェック
・新鮮野菜・果物の直売
・サイクルランド
・カラオケ、芝オケ
・津軽三味線 鈴友会
・沖縄民謡 エイサー
・投げもち

WHO ウォークイベント

たくみの里の野仏と名刹を歩く

10月12日(日)
たくみの里豊楽館駐車場
9時20分集合、受付開始
歴史ガイド...金井竹徳さん
(郷土史家、沼須人形あけぼの座 座長)

主な史跡等
須川宿、笠原大黒天、笠原一之宮、泰寧寺、谷地庚申塔、野々宮神社等
*昼食、飲み物は各自持参。
*参加希望者は、資料の準備のため10月8日頃までに組織課に連絡(22-2300)

なる「機関紙配布者交流会」を開き、月間取り組みの意思統一した水上支部は、病院から遠く地域も広いので、職員と一日かけての訪問も行うことなどを確認しました。

ほぼ全員の支部役員が入れ替わり、新体制となつて強化月間を取り組む高山支部では、最初は戸惑いもありましたが、同席した「老健施設とね」職員との協議の結果、10月に入ったら相互に連携して「訪問」を進めることにしました。また全員が受講の「支部運営委員入門」の学習も行い、今後の活動に活かしていこうと話し合いました。

を控えた月間だから「増資」の大切さを訴え、支部目標の400万円を達成しようと話し合いました。特に「表彰基準4」まで表彰済みの高橋場町原田神明班から、班の1世帯出資金平均額が10万円以上の「表彰基準5」に挑戦するとの決意がありました。

「特設窓口」開設
患者さんにも増資等の協力をと、今年も理事・支部役員、職員等で「生協強化月間特設窓口」を開設します。ご協力をお願いいたします。

利根中央病院 11月
利根歯科診療所 10月
片品診療所 11月

「予約なのに1時間以上待たされた」と多くの苦情が寄せられる。待ち時間が長くて申し訳ないが、日本の医師の現状も知っていたら、この数年で公的病院だけでなく産科、小児科を中心に350もの診療科が閉鎖された。24時間対応など過酷な労働で医師は疲れ切つて病院離れという深刻な状況だ。政府は「医師は足りている。都市部への偏在が問題」と言っているが、医師数を国際比較すると驚く。OECD(経済協力開発機構)加盟国の人口10万人当たりの医師数平均は290人、日本は200人弱で加盟国29カ国中27位である。日本の医師は27万人だが、OECD平均に達している都道府県はない。医師が診る年間患者数はスウェーデンの900人などOECD平均では2,400人、日本は3,500の8,400人である。なぜ医師不足になったのか。政府は80年初頭に「医師が増えると医療費の高騰を招く」という理由で、医学部定員を削減し、医師数抑制を閣議決定した。現在の医師不足はこのツケである。最近の地域医療の崩壊に慌てて今年から医学部の定員増を認めたが、医師が一人前になるには十年近くかかる。地域医療の崩壊で一番しわ寄せを食うのは患者さんだ。当院でも来年度は内科・脳外科をはじめ医師体制がさらに厳しくなる事が予想される。政府の低医療費政策を転換しないと地域医療の崩壊はさらに進行する。(関)

通院で患者負担も軽減

がん治療に「外来化学療法室」開設

利根中央病院は、一昨年の9月、高度ながん治療が受けられるようにと作られた「地域がん診療拠点病院」に指定されました。

「こうしたことから8月には、「外来化学療法室」が開設されました。現在、外科、内科を中心に30人前後の方々が、外来治療を行っています。今まで、入院しなければできなかった化学療法が、外来で抗がん剤の治療(点滴や注射)が受けられるようになりました。



▶化学療法室は、ベッドが1床と、リクライニングチェアが3台備えられています。

「経済的負担を軽くしたい」などの希望も増えてきました。今後、地域のがん治療の向上を目指して行きます。

積極的な検診が大切

認知症サポーター養成講座

薄根支部で20人



8月26日、薄根支部主催で第2回認知症サポーター養成講座が開かれました。他支部からの参加もあり計20人が新しくサポーターとなりました。

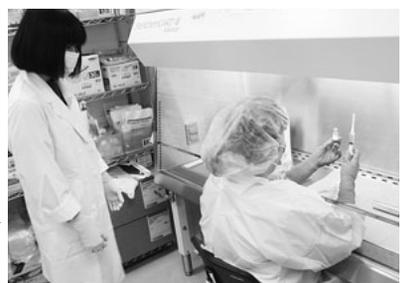
受講した阿部忠さんは「困っている人を見かけたら声をかけてあげることが大切だと思います。自分も班会などに出て多くの人と交流し予防に心がけたい」と話していました。



この「化学療法の学習を深め当院のがん治療の水準を高めよう」と、8月末群馬大学の臨床腫瘍センターの室長、唐沼達哉先生を招いた講演会に70人が参加しました。

唐沼先生は、「外来化学療法」の現状と課題」と題して、群馬大学付属病院で行われている延べ数千人の治療や施設紹介がされ、患者さんと医師、看護師、薬剤師らの信頼関係を築き、治療に対する不

▲化学療法は専属の薬剤師が安全キャビネットを使用して、抗がん剤を無菌調整します。



安感を軽減することが重要だと話されました。

沼田利根医師会の先生方も参加し、国府田会長は「全国どこにいても、同じレベルのがん治療を受けられるようにと体制が作られてきた。市民としても積極的な検診が大切だ」と話された。また、医師会学術担当の石田先生からは「入院していても、がん治療が受けられ、日常生活の質が高められる。安心して治療できることが必要だ」と挨拶しました。

「高齢者イジメ許すな」

第22回日本高齢者大会



群馬からは51人が参加

「長寿をよむこび、長寿を活かそう」と第22回日本高齢者大会が、9月8日・9日新潟市の「朱鷺メッセ」で開かれました。全国から4千7百人、利根沼田からは10人が参加し、次々と「高齢者イジメ」がされている中、今こそ、運動を一層強めて行くこと、交流をふかめました。一日目の学習講座では、日本高齢者運動連絡会顧問の篠崎次男さんが、「後期高齢者医療制度は、高齢者だけでなく国民全体の医療改善を目的にするものだ」として、幅広い共同の運動を進める大切さを強調しました。

二日目の全体会では、医療部会の高橋泰行運営委員長の記念講演では、「人のつながりが大事、金持ちより人持ちはなげよう」と訴えました。水上支部小崎洋一朗さんは「衆議院の選挙が近い、これを機会に後期高齢者医療制度を廃止に追い込む運動にしよう」と話していました。

胃・大腸・乳・子宮 がん検診を受けましょう

	対象者	負担金	利根中央病院では
胃がん	40才以上	800円	予約制です。平日の午後2時過ぎに、電話22-4321健康管理科までお問い合わせ下さい。
大腸がん	40才以上	600円	市から送られている容器に便を採って総合受付にお持ち下さい。
乳がん	女性 40才以上で 偶数年齢の方	1,000円	予約制です。平日の午後2時過ぎに、電話22-4321外科外来にお問い合わせ下さい。
子宮がん	女性 20才以上で 偶数年齢の方	500円	予約は必要ありません。平日の午前中、総合受付でカルテを受け取り、婦人科外来にお越し下さい。

沼田市内在住者の胃・大腸・乳・子宮がんの個別検診が11月末まで行われます。がんを予防するには、タバコをはじめとした生活習慣の改善と、出来るだけ早く発見し治療することが大切です。年に一度は検診を受けて早期発見に心がけましょう。

検診の申し込みはどの検診にも市から送られてくる「受診票」が必要です。すでに届いていると思いますが、受診時には忘れずにお持ち下さい。

申し込みをされていない方もこの期間中(11月末)は受け付けています。詳しくは左記までお問い合わせ下さい。

- 市役所 電話23-2111
- 健康課 予防係
- 白沢町振興局 (電話53-2111) 市民課 保健福祉係
- 利根町振興局 (電話56-2111) 市民課 保健係

他の町村でも同様のとり組みがされています。ぜひ検診を受けましょう。

よつこ新らしい仲間 8月の新加入者

- 8月の新加入者は名義変更を含めて十九人でした。(敬称略)
- 沼田東支部 西山 幸子
 - 沼田南支部 大津まり子
 - 薄根支部 薄根 孝典
 - 見城 政雄
 - 利根北支部 萩原 重信
 - 星野 和美
 - 片野 孝典
 - 吉野 竹男
 - 月夜野東支部 中ノ条町 田村 順子
 - 笠原 重信
 - 萩原 秋治
 - 本多 敬美
 - 吉野 竹男
 - 中ノ条町 田村 順子
 - 山本 勤
 - 石坂ちか子
 - 塩原 かね
 - 若菜 静司
 - 水土支部 (60才以上)
 - 薄根支部 (280才以上)
 - 富沢 康次 (40才以上)
 - 小林 忠雄 (70才以上)
 - 原沢賢次郎 (長谷川博子)
 - 川田支部 (100才以上)
 - 新治支部 (130才以上)
 - 生方 新吾
 - 利根北支部 (小菅 義)
 - 矢嶋 仁 (20才以上)
 - 田村レイ子 (40才以上)
 - 高橋 義雄 (180才以上)
 - 馬場半次郎 (230才以上)
 - 田辺ユキ子 (30才以上)
 - 杉原 勇逸 (20才以上)
 - 星野アキエ (1570才以上)
 - 月夜野西支部 (丸山 功)
 - 高柳 梅吉 (520才以上)
 - 和田 (80才以上)
 - 利南支部 (寺崎 泰)
 - 利南支部 (小泉 廣行)
 - 沼田西支部 (330才以上)
 - 矢嶋 仁 (40才以上)
 - 高橋 義雄 (180才以上)
 - 沼田南支部 (480才以上)
 - 馬場半次郎 (230才以上)
 - 田辺ユキ子 (30才以上)
 - 杉原 勇逸 (20才以上)
 - 星野アキエ (1570才以上)
 - 月夜野西支部 (丸山 功)
 - 高柳 梅吉 (520才以上)
 - 和田 (80才以上)
 - 利南支部 (寺崎 泰)
 - 利南支部 (小泉 廣行)

増資者一覧 8月分

8月の増資は五九一人から寄せられました。この二覧への紹介は、紙面の都合上10口単位に到達した二九人の方を掲載しております。ご了承下さい。(敬称略)

「新しい仲間と増資者」の一覧の紹介について

新規加入の方については、加入時に「生協の個人情報利用目的」を確認していただき掲載しております。また、増資者一覧については、増資の際、10口単位の到達時に掲載しております。この欄への掲載を望まない方は(電話22-4321)生協本部総務課まで申し出下さい。

インフルエンザは11月から予防接種

早めの接種が効果的

内科外来(月)-(土)の午前中
費用...4,000円

但し、65才以上の方は、公費助成制度があり、本人負担は1,000円。みなかみ町在住の方は、2000円です。受付でカルテを受け取って、内科外来へ「予防接種の希望」と話して下さい。

小児科外来電話にて予約制です
費用...一回目 4,000円
二回目 2,000円

卵アレルギーのある子どもさんは注意が必要です。予約時にお申し出下さい。

お問い合わせは
内科外来、小児科外来の窓口までお願いします。

8月班会開催一覧

支部名	班名	班長名	人数	班会内容
沼田東	材木町11	小林 永久子	6	骨粗いよ症の低、骨密度測定
	材木町1	小野 のぶ	4	胃の話
	材木町2	大谷 好子	3	胃の話
	上原町6-1	片桐智代江	3	メタボリックシンドロームの低、内臓脂肪測定
	上原町7-4	武井 剛男	4	メタボリックシンドロームの低、内臓脂肪測定
上原町9-2	星野フジ子	4	メタボリックシンドロームの低、内臓脂肪測定	
沼田中	西倉内町8	坂大 徳江	5	腰痛体操、体脂肪測定
沼田西	榎名町8-2	金子 くら	4	大腸がんチェック、大腸がんの話
	榎名町3	金子 森子	3	大腸がんチェック、大腸がんの話
	榎名町1-2	戸部 大吉	3	大腸がんチェック、大腸がんの話
	榎名町8-1	宮内はつ枝	3	大腸がんチェック、大腸がんの話
沼田南	鍛冶町10	馬場半次郎	4	脳卒中予防の話
	鍛冶町6	竹村 健一	4	脳卒中予防の話
沼田北	高橋町原田神明	石倉 時子	5	大腸がんチェック
利南	上久屋町馬場	鱧田 澄世	4	塩分の話、みそ汁塩分測定
	フアータウン		22	熱中症の話
	戸鹿野町1	星野 早苗	8	生活習慣病の低、血管年齢測定
薄根	碓田町合同班	金子 幸子	4	健康体操、血管年齢測定
	白岩町合同班		4	健康体操、血管年齢測定
白沢	尾倉上	角田 梅子	6	笑いの効用
利根北	追良合同班	小林 喜市	9	映画「シッコ」上映
利根南	小松	中沢 政雄	4	健康チェック
川場	中野合同班	宮田 正子	9	調理会
月夜野東	下牧原の中	山田八重子	5	内臓脂肪測定、尿チェック
	後閑上入合同班	佐藤 興	4	肝臓の話
	後閑下入合同班	波谷 典子	5	肝臓の話
月夜野西	月夜野町組2-2	丸山 功	3	動脈硬化の話、血管年齢測定
	月夜野町組1	片野 良子	3	動脈硬化の話、血管年齢測定
水上	鹿野沢1-1	小林マサ子	4	ラジオ体操の早朝班
	鹿野沢1-2	武田 澄江	3	ラジオ体操の早朝班
	鹿野沢2-1	木村とき子	3	ラジオ体操の早朝班
	鹿野沢3-1	上山 たか	3	ラジオ体操の早朝班
	鹿野沢4	木村 初恵	3	ラジオ体操の早朝班
	鹿野沢5	荒木 洋子	3	ラジオ体操の早朝班
	鹿野沢芦間下1	田村 未子	3	ラジオ体操の早朝班
	鹿野沢芦間下2	飯塚 シュン	3	ラジオ体操の早朝班
新治	須川十二河原	田村 照代	5	セパシ体操
	須川上	梅沢 貞子	4	塩分測定、心臓病の話
	須川中	見城 絹子	3	塩分測定、心臓病の話
	布施宿	島崎 金衛	7	大腸がんの話、大腸がんチェック
昭和東	糸井中宿	須藤 澄子	6	体脂肪測定、内臓脂肪測定
昭和南	入原清水	諸田 洋子	3	らく体操
	入原合同班2	高橋喜和子	5	らく体操
	入原合同班3	堤 もり	5	らく体操
	入原2	高橋 マキ	4	らく体操
高山	判形原	木村千代子	5	お茶会
病棟・他	1階北	西園みどり	13	五十肩の話
	ふれあいの輪	野村 操	13	ドライマスの話
総計	48回		243人	



水上支部 配布者交流会

今年で4回目となりすっかり定着した利根の保健配布者交流会。45人が集まって「新病院建設」「老化を遅らせる生活」「転倒予防体操」「簡易レクリエーション」など盛り沢山のテーマで大賑わいの学習・交流企画でした



沼田中 西倉内町7-1班(腰痛体操) 班長宅に8人が集まり、腰痛改善の体操をしました。四つん這いになったり、上体をひねったり背中を丸めたり...。DVDを見ながら楽しい実習となりました



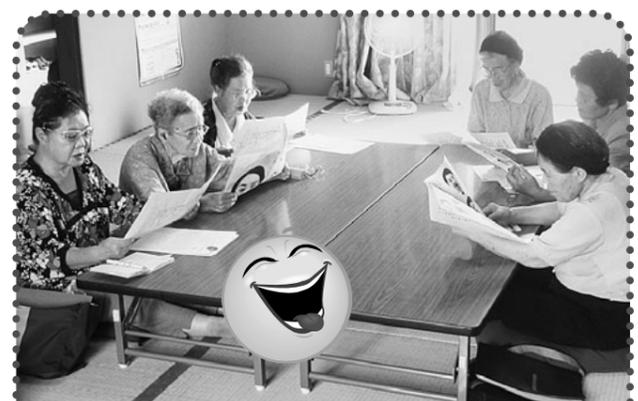
月夜野東 真庭 政所合同班(認知症の話) 久しぶりの班会に10人が参加。緊張のせいか「血圧がいつもより少し高め」と話す皆さん。身近なボケの話題で盛り上がり、最後は「認知症サポーター養成講座をこの地域でも開こう」ということになりました。



月夜野東 後閑上入・下入合同班(腎臓の話尿チェック) それぞれが採った尿に試験紙を入れて判定。みんな陰性で腎機能異常や糖尿病の心配もひと安心。「おしっこって色んなことがわかるのね」と感想。尿のサインに注意です!



薄根 恩田合同班(内臓脂肪チェック・検査結果の見方) ドキドキしながら体組成計の上に。全員女性なので内臓脂肪は少なめでしたが体脂肪は脂肪...。食事と運動を工夫して適正值にしようとの声がありました。



昭和東 中宿班(笑いの効用) 免疫力を高め病気になるにくくなると言われている「笑い」。「月一回の学校よ」と集まった皆が早口言葉や表情筋を動かす顔の体操で笑顔づくりをしました。

今月の料理

きのこのバターキンピラ

きのこのおいしい季節です。時にはこんな味付け、いかがですか?

材料(4人分)

- しめじ...100g まいたけ...80g ベーコン...40g
- バター...20gと5g みりん...大さじ2
- しょうゆ...大さじ1 鷹の爪...1本 海苔1/2枚

作り方

きのこは石づきを外して小房に分け、ベーコンは5mm幅の短冊に切る。鷹の爪は小口切りにし、海苔は細切りにする。フライパンにバター20gを入れ、強火にかけ、半分溶けたら鷹の爪、ベーコン、きのこを加える。バターが焦げた香りが少ししたら、みりんを入れる。きのこに火が通ったら、しょうゆを回し入れ、バター5gを落として火を止め、海苔を散らす。最後に使うバターは香り付け。火にかけてるとすぐに焦げ付くので、フライパンの余熱で溶かすと失敗なく仕上がります。

(栄養課 丸山和希)

なかまの 作品

俳句

走る孫目で追ひかける運動会
川場村谷地

突っ走る車窓に蕎麦の花盛り
沼田市上野町

墨絵めく嶽をそびらに谷紅葉
沼田市西倉内町

萩の花道を塞ぎて遠回り
沼和村橋久保

落つる日に一面白き蕎麦の花
川場村澤原

案山子にも雨具を着せる思ひやり
みなかみ町師

畦に立ち類笑むほほに稲穂風
沼田市上野町

終戦忌遺影の若さに泣かざる
沼和村野瀬

心まで老ひてはならぬ秋桜
川場村立岩

油ぜみ力の限り夏支ふ
沼和村下

まんじゅしゃげ群れて咲きをり過ぎし夏思ひ出
沼田市高橋町

しつと畦道にたつ
沼田市高橋町

すすきの穂澄み渡る空さやさと涼風誘ひ眩し
沼田市高橋町

くひかる
沼田市高橋町

護られて生き長らえる老いし身は心静かに趣味
沼田市久屋原町

にいそしむ
川田 みる

初散歩豆靴はいて手を引かれ大地踏みしむ孫の
みなかみ町後閑

眼光る
波谷 典子

此の夏の暑さに異変おこりしやつつじ数多の返
白沢町尾倉

り花咲く
飯田 清子

ひぐらしの音色沁みこむ山あいの木陰の風は頬
沼田市上原町

に爽けし
吉野 秋子

終戦後六十三年経し今も平和の尊さむすかしさ
みなかみ町下津

知る
原沢 貞子

医療相談室

中高年に多い目の病気
視野が欠けていく緑内障



利根中央病院
眼科医師
細貝真弓

先月号に続き、二回目の今回は「緑内障」についてです。

日本では、40歳以上の約20人に1人が緑内障であるといわれています。

緑内障はそのままにしておくと失明につながる可能性があります。早期発見、早期治療が大切です。

緑内障とは

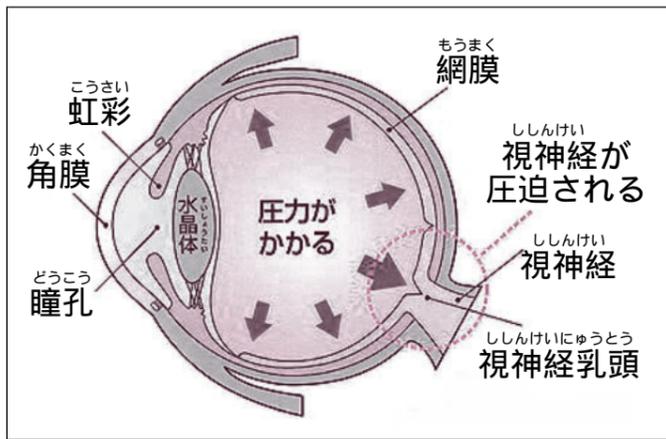
光は角膜・水晶体を通して網膜に像を結び、電気信号に変えられ、「視神経」を通して脳に伝わります。

緑内障は、この視神経が障害され、視野(ものが見える範囲)が欠けていく病気です。

目の内側から外側にかかる「眼圧」といい、常に適度な眼圧がかかることで目の形が維持されています。何らかの原因で眼圧が高まり、視神経が圧迫されて、障害を起す、その部位に対応する視野が欠けてしまいます。

早期発見が重要

初期には自覚症状がほとんどありません。症状に気付いたときには、病気がかなり進んでいたりということがあります。そのため、早期発見が重要です。



です。発見のきっかけで多いのは、人間ドックの眼底写真検査ですが、日常生活で物を見たときに気付くこともあります。時々、片目で新聞を見たりしてチェックするとよいでしょう。

緑内障による視野障害の進み方



健康な人の視野(左目) 視野とは、一点を見ただけで、見える範囲をいい、網膜から中枢(脳)までの機能を反映する。

緑内障の初期～中期 初期には、一般に鼻側から視野が欠け始める。この段階では気づかないことが多い。

緑内障の末期 治療をしないまま放置すると、視野狭窄が進み、生活の不便が出てくる。失明に至る例もある。

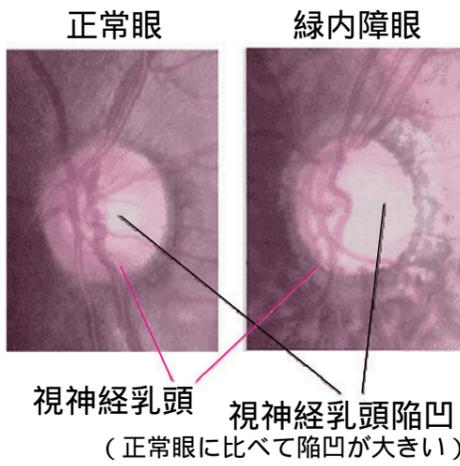
保健生協通信

生協の事業所は、組合員になって利用を



私たちの生協は、国の法律「生活協同組合法」にもとづいて、利根中央病院をはじめ、利根歯科診療所、片品診療所、「介護老人保健施設とね」を中心とした「とね在宅総合センター」を運営しています。組合員さんは出資をし、そして、積極的な希望や意見を出しあって、組合員の参加と協同で生協は運営されています。

生協の事業所は、組合員になって利用することが原則です。まだ未加入の方は加入をして利用して下さい。病院・診療所などに受診の際は、保険証と一緒に、組合員証を窓口へ提示して下さい。



正常眼 緑内障眼
視神経乳頭 視神経乳頭陥凹 (正常眼に比べて陥凹が大きい)

緑内障の治療 眼圧を下げる点眼薬を使用し、病気の進行を抑えるのが基本です。様々な種類の点眼薬があり、病状に応じて、1種類にしたリ複数の薬を組み合わせて使ったりして使います。定期的な視力、眼圧、視野検査を行い、治療の効果を見ていきます。点眼薬はコンタクトレンズに付かないように、4面に掲載していた「今月の料理」と「なかまの作品」は紙面変更のため、3面に移動しました。

緑内障の治療 眼圧を下げる点眼薬を使用し、病気の進行を抑えるのが基本です。様々な種類の点眼薬があり、病状に応じて、1種類にしたリ複数の薬を組み合わせて使ったりして使います。定期的な視力、眼圧、視野検査を行い、治療の効果を見ていきます。点眼薬はコンタクトレンズに付かないように、4面に掲載していた「今月の料理」と「なかまの作品」は紙面変更のため、3面に移動しました。



沼田市碓田町
片野朝菜ちゃん(2歳5ヶ月)
毎日お祭りがいいなあ♡



みなかみ町下牧
落合俊生くん(2歳7ヶ月)
仲良い兄妹!

すくすく
エンジェル
掲載希望の方は お子様氏名 年齢 住所 コメント (13文字以内) 連絡先をご記入の上ご投稿下さい。
編集事務局 E-mail:sukusuku-tone@tonehoken.or.jp



沼田市高橋場町
宮内碧志くん(1歳11ヶ月)
大好きなおにちゃんニコッ



みなかみ町後閑
武井来輝くん(1歳2ヶ月)
元気ですくすく成長してね!



沼田市柳町
羽鳥藍ちゃん(1歳5ヶ月)
歯みがき大好き♡



沼田市白沢町平出
金子月南・星南ちゃん(2歳9ヶ月)
仲良く? 双子姉妹です!



沼和村川額
綿貫心大くん(2歳8ヶ月)
心大 兄貴になりました!



沼田市白岩町
吉野綾馬くん(2歳11ヶ月)
バスケットボールが大好き!



沼田市高橋場町
牛込結望ちゃん(1歳5ヶ月)
ママのおにぎりが大好き!

今月号から、お子さん(3歳未満)の元気な成長を掲載する、新コーナーがスタートしました。皆さんのお宅の素敵なエンジェルの写真投稿をお待ちしております。